

## 一日中人が行き交う活気に満ちた明るい食堂

取 材 日:2016年7月27日(水)

取材場所:日本大学牛産工学部 津田沼キャンパス

千葉県北西部に位置する習志野市にキャンパスを置く日大生 産工学部は、経営者の視点を持つ技術者を育てる教育で、同 じ日大の理工学部、工学部とは一味違った独自性を追求して いる. 2012年には生産工学部創設60周年を迎えた.



新しい39号館.2階ガラス窓のところが食堂

JR 総武線の津田沼 駅からバスで10分. 日大生産工学部前で降 りると目の前が津田沼 キャンパスの正門であ る(または、京成大久 保駅から徒歩 10分).

ここに大小 29 の棟が並び、学生約 6,400 人が学ぶ(こ の内. 1年生 1.600 人は. 徒歩 10 分程の実籾キャンパ スに在籍). キャンパス内を歩くと女子学生も目立ち, 2 割近くを占めるという、学生食堂は2カ所あり、そのう ち 60 周年記念棟の 39 号館にある食堂へと向かった. 1 階ギャラリーでは、機械工学科 1 年生による紙飛行機競 技会が催されていて歓声が上がっていた.

## ランチタイム

食堂に入ると天井の照明がくっきりと映る磨き上げられ た床に目がいく. 高い窓からの採光は申し分なく. とても 明るい. 中庭テラス席もあり, 広いスペースは雰囲気の違 う多様な空間を楽しめるよう工夫されている. 試験期間 中とのことで、300 ある席は午前中から勉強する学生で



栗谷川先生と食堂の風景

多くが埋まっていた. メニューは各種定 食、丼類、カレーそ の他で、充実してい る. 麺類は200円 台からあり、500 円あればほとんどの





明るく広々としたエントランス - 左手ガラス窓の外は中庭テラス席



津田沼キャンパス正門を入ったところ



液晶パネルによるメニュー表示

メニューを食べることができる. この日は、スペシャルメニュー の厳選極旨カレー3種が提供 されていた. ラーメンの「生産 エモンスター! も人気で、丼に

乗りきらない4枚の巨大なチャーシューが見事だ. 残念 ながら売り切れのためカツカレーを注文. これもカツが大 きくボリュームたっぷりだ. 他にも, 330円のメニュー を50円で提供する朝食や、カフェテリアでは、焼きたて パンや本格コーヒーが楽しめ、また夕方からは教員が一緒 ならお酒も飲めたりと、ここは一日中人が行き交う活気に 満ちた明るい食堂だった.

## 日本で唯一の生産工学部

日大生産工学部の特徴 は、ものづくりに重点を 置いた教育と研究にある. 3年生になると全員が 夏休みに生産実習を履修 する. 実習後は社会で求 められるものへの気付き



が生まれ、後の学びの姿が一変するという. 2010年に 発足した自動車工学リサーチセンターでは、国内外の大学 や研究機関と連携し、未来のクルマづくりを目指している. 世界で活躍するためのビジネススキル開発や、経営管理能 力を備えた技術者育成プログラムなども好評という. 取材 にご協力頂いた景山先生, 南澤先生, そして栗谷川先生, ありがとうございました.

帰り際、キャンパス内にひっそりと立つ「騎兵第十四聯



隊跡」の記念碑に立ち寄った. ここは,小説「坂 の上の雲」に登場する秋山好古率いる騎兵部 隊が設置された正にその場所である。 時は流 れて平成の現代. 次代を担う若者たちは, 今 は平和なこの地で多くを学び、巣立っていく.

(事務局 出版・販売グループ 小山士郎)